

2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月8日

上場会社名 バーチャレクス・ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6193 URL http://www.vx-holdings.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 栄樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 黒田 勝 TEL 03-3578-5300  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 -  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無: 無  
 決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

百万円未満切捨て

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	5,948	△3.7	△192	-	△191	-	△519	-
2019年3月期	6,177	12.1	75	58.7	70	65.5	20	162.7

(注) 包括利益 2020年3月期 △519百万円 (-%) 2019年3月期 22百万円 (184.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	△179.59	-	△72.8	△7.5	△3.2
2019年3月期	7.06	7.00	2.1	2.8	1.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 -百万円 2019年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	2,336	439	18.8	152.70
2019年3月期	2,764	988	35.7	339.11

(参考) 自己資本 2020年3月期 439百万円 2019年3月期 988百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	△167	△183	243	208
2019年3月期	145	△479	285	315

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2020年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2021年3月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階で合理的に算定することが困難なことから未定としています。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年3月期	2,943,153株	2019年3月期	2,941,153株
2020年3月期	64,500株	2019年3月期	27,500株
2020年3月期	2,891,793株	2019年3月期	2,935,005株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	257	△10.8	△104	—	△82	—	△456	—
2019年3月期	288	△85.1	75	316.7	104	132.3	82	310.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	△157.75	—
2019年3月期	28.10	28.06

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	1,637	500	30.5	173.83
2019年3月期	1,834	985	53.7	338.29

(参考) 自己資本 2020年3月期 500百万円 2019年3月期 985百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）次期の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、米中貿易摩擦長期化の影響や消費税増税はあったものの、雇用や所得環境の改善が続くなど緩やかな回復基調を維持してきました。しかしながら、第4四半期連結会計期間に入り、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、国内外において経済活動への影響が懸念され、景気の先行き不透明感は一層強まる状況となりました。

このような状況の下、当社グループはテクノロジーを基盤として、バーチャレクス・コンサルティング株式会社はCRMをビジネスのドメインに、株式会社タイムインターメディアはWeb、文教・教育、AIなどをビジネスのフィールドとして、当社グループの持つコンサルティング、IT、アウトソーシングのノウハウを活用したトータルな支援を行ってきました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は5,948,854千円（前連結会計年度比3.7%減）、営業損失は192,590千円（前年同期は営業利益75,047千円）、経常損失は191,449千円（前年同期は経常利益70,687千円）、親会社株主に帰属する当期純損失は519,324千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益20,713千円）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

IT&コンサルティング事業におきましては、株式会社タイムインターメディアの大型システム開発案件において、品質トラブルによる大幅な遅れから最終的に案件中止に至り、結果としてこの開発案件で2億円以上の損失を計上することになりました。バーチャレクス・コンサルティング株式会社については、概ね予定通り推移しました。この結果、売上高は3,149,619千円（前連結会計年度比4.8%減）、営業利益は189,925千円（同58.4%減）となりました。

アウトソーシング事業におきましては、一部案件の縮小、新センター立ち上げに伴う費用や採用コスト増加などもありましたが、ストックビジネスとして着実に推移しております。売上高は2,799,235千円（前連結会計年度比2.4%減）、営業利益は481,617千円（同3.0%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産の部)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末より427,552千円減少し、2,336,655千円となりました。これは主に、前連結会計年度末よりのれんが225,868千円、現金及び預金が106,508千円減少したこと等によるものであります。

## (負債の部)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末より120,931千円増加し、1,897,080千円となりました。これは主に、借入金が274,053千円増加したこと等によるものであります。

## (純資産の部)

当連結会計年度末における純資産合計は、親会社株主に帰属する当期純損失519,324千円を計上したこと等により、前連結会計年度末より548,483千円減少し純資産は439,575千円となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ106,508千円減少し、期末残高は208,740千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、167,058千円（前連結会計年度は145,357千円の収入）であります。これは主に、税金等調整前当期純損失416,468千円があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、183,033千円（前連結会計年度は479,408千円の支出）であります。これは主に、投資有価証券の取得による支出59,295千円、無形固定資産の取得による支出57,317千円があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得た資金は、243,583千円（前連結会計年度は285,378千円の収入）であります。これは主に、短期借入金の純増額330,000千円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染対策に伴う経済活動への深刻な影響により、景気は足下で大幅に下押しされています。今後、世界経済への影響の広がりや長期化の度合いによっては、さらに深刻度を増すことが予想されます。

当社グループでは、従業員の安全を第一とし、感染リスク低減に向けて、不要・不急な出張、面談等の延期または中止、在宅勤務を推進する中で必要な会議や面談はテレビ会議システムで実施する、などの対応を行っております。

このような環境の中、IT&コンサルティング事業については、企業の景況感悪化に伴うIT投資意欲の減退も予想され、先行き不透明な状況であります。

アウトソーシング事業については、ストックビジネスとしてこれまで安定的に事業活動を継続してきたものの、クライアント企業毎に様々な事業環境への影響が見受けられる中、当社グループが受託する業務規模への影響が不透明であります。

また、政府の緊急事態宣言の発令により、当社の営業活動においても十分な営業活動が出来ているという状況ではありません。

以上のことから、次期(2021年3月期)の連結業績見通しにつきましては、現時点で業績に影響を与える未確定要素が多く、適正かつ合理的な業績予想を算定することが困難なため、未定とさせていただきます。今後、当社グループ各社における新型コロナウイルス感染拡大による事業活動への影響度合いの状況確認が進み、適正かつ合理的な算定が可能となった段階で、速やかに公表致します。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であること、また国内の同業他社との比較可能性を確保するため、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	315,249	208,740
受取手形及び売掛金	835,324	847,257
開発事業未収入金	229,217	153,018
仕掛品	54,824	16,785
前払費用	72,475	94,472
その他	35,841	56,951
流動資産合計	1,542,932	1,377,225
固定資産		
有形固定資産		
建物	130,669	160,018
車両運搬具	18,497	18,497
工具、器具及び備品	174,328	196,101
リース資産	10,044	10,044
減価償却累計額	△236,741	△280,149
有形固定資産合計	96,797	104,511
無形固定資産		
ソフトウェア	136,659	101,180
ソフトウェア仮勘定	33,778	16,888
のれん	225,868	—
電話加入権	3,820	3,820
無形固定資産合計	400,126	121,890
投資その他の資産		
投資有価証券	429,064	490,931
関係会社株式	12,388	12,388
敷金及び保証金	94,469	122,096
保険積立金	19,594	19,893
繰延税金資産	139,482	64,098
その他	29,352	23,619
投資その他の資産合計	724,351	733,028
固定資産合計	1,221,275	959,430
資産合計	2,764,207	2,336,655

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	216,897	130,174
短期借入金	220,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	138,280	125,182
未払金	254,743	185,524
未払費用	41,099	42,017
リース債務	1,807	1,807
未払法人税等	43,085	23,129
未払消費税等	92,020	105,517
未払事業所税	5,673	6,262
前受金	33,272	43,370
預り金	73,634	46,639
賞与引当金	149,568	146,745
受注損失引当金	—	24,227
その他	—	82
流動負債合計	1,270,084	1,430,682
固定負債		
長期借入金	486,074	443,225
リース債務	8,135	6,327
資産除去債務	11,854	11,891
繰延税金負債	—	54
その他	—	4,899
固定負債合計	506,064	466,398
負債合計	1,776,149	1,897,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	597,861	598,381
資本剰余金	301,415	301,935
利益剰余金	105,982	△413,341
自己株式	△19,776	△49,478
株主資本合計	985,484	437,497
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,574	2,077
その他の包括利益累計額合計	2,574	2,077
純資産合計	988,058	439,575
負債純資産合計	2,764,207	2,336,655

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	6,177,798	5,948,854
売上原価	4,790,458	4,760,373
売上総利益	1,387,340	1,188,480
販売費及び一般管理費	1,312,292	1,381,071
営業利益又は営業損失(△)	75,047	△192,590
営業外収益		
受取利息及び配当金	157	273
助成金収入	—	5,665
投資事業組合運用益	3,395	7,120
受取手数料	1,380	—
その他	718	2,311
営業外収益合計	5,652	15,370
営業外費用		
支払利息	4,026	6,956
支払手数料	1,422	2,884
投資事業組合運用損	3,130	3,833
損害賠償金	1,009	—
その他	422	555
営業外費用合計	10,012	14,229
経常利益又は経常損失(△)	70,687	△191,449
特別利益		
固定資産売却益	919	—
特別利益合計	919	—
特別損失		
固定資産除却損	206	—
減損損失	3,535	225,019
特別損失合計	3,742	225,019
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	67,865	△416,468
法人税、住民税及び事業税	60,132	27,198
法人税等調整額	△12,981	75,658
法人税等合計	47,151	102,856
当期純利益又は当期純損失(△)	20,713	△519,324
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	20,713	△519,324

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	20,713	△519,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,175	△496
その他の包括利益合計	2,175	△496
包括利益	22,889	△519,821
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	22,889	△519,821
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	597,029	300,583	85,268	—	982,882	398	983,281
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	832	832			1,664		1,664
自己株式の取得				△19,776	△19,776		△19,776
親会社株主に帰属する当期純利益			20,713		20,713		20,713
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						2,175	2,175
当期変動額合計	832	832	20,713	△19,776	2,601	2,175	4,777
当期末残高	597,861	301,415	105,982	△19,776	985,484	2,574	988,058

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	597,861	301,415	105,982	△19,776	985,484	2,574	988,058
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	520	520			1,040		1,040
自己株式の取得				△29,702	△29,702		△29,702
親会社株主に帰属する当期純利益			△519,324		△519,324		△519,324
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△496	△496
当期変動額合計	520	520	△519,324	△29,702	△547,986	△496	△548,483
当期末残高	598,381	301,935	△413,341	△49,478	437,497	2,077	439,575

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	67,865	△416,468
減価償却費	148,115	139,526
減損損失	3,535	225,019
資産除去費用	5,850	1,654
のれん償却額	28,834	14,417
賞与引当金の増減額(△は減少)	27,067	△2,823
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	24,227
受取利息及び受取配当金	△157	△273
支払利息	4,026	6,956
支払手数料	1,422	2,884
投資事業組合運用損益(△は益)	△265	△3,287
固定資産除売却損益(△は益)	△713	—
売上債権の増減額(△は増加)	△79,765	△11,933
開発事業未収入金の増減額(△は増加)	△128,118	76,198
たな卸資産の増減額(△は増加)	△45,035	38,038
前払費用の増減額(△は増加)	△841	△21,996
仕入債務の増減額(△は減少)	20,506	△86,722
未払費用の増減額(△は減少)	2,113	1,539
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,532	13,497
前受金の増減額(△は減少)	8,454	10,098
預り金の増減額(△は減少)	12,732	△26,994
その他	62,132	△74,957
小計	145,292	△91,399
利息及び配当金の受取額	24	13
利息の支払額	△4,088	△6,989
手数料の支払額	△1,422	△2,884
法人税等の支払額	△21,589	△70,692
法人税等の還付額	27,141	4,893
営業活動によるキャッシュ・フロー	145,357	△167,058
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△32,486	△44,767
有形固定資産の売却による収入	920	—
無形固定資産の取得による支出	△59,510	△57,317
投資有価証券の取得による支出	△376,875	△59,295
貸付金の回収による収入	312	9,684
短期貸付けによる支出	△7,737	△1,793
敷金及び保証金の差入による支出	△3,731	△30,018
敷金及び保証金の回収による収入	—	773
保険積立金の積立による支出	△299	△299
その他	△0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△479,408	△183,033
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	120,000	330,000
長期借入れによる収入	300,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△115,605	△155,947
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△903	△1,807
株式の発行による収入	1,664	1,040
自己株式の取得による支出	△19,776	△29,702
財務活動によるキャッシュ・フロー	285,378	243,583
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△48,673	△106,508
現金及び現金同等物の期首残高	363,922	315,249
現金及び現金同等物の期末残高	315,249	208,740

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会及び経営会議が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主にコンサルティングサービス、CRM製品、CRM ITサービスを提供する「IT&コンサルティング事業」と、主にコンタクトセンターを中心としたアウトソーシングサービスを提供する「アウトソーシング事業」を展開しております。

当社グループは、これら「IT&コンサルティング事業」及び「アウトソーシング事業」の2つを報告セグメントとしており、事業別のセグメントから構成されております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,308,631	2,869,167	6,177,798	6,177,798
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,308,631	2,869,167	6,177,798	6,177,798
セグメント利益	456,878	496,321	953,199	953,199

(注) セグメント資産及びセグメント負債の金額は当社の最高経営意思決定機関において定期的に提供・使用していないため記載していません。

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,149,619	2,799,235	5,948,854	5,948,854
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,149,619	2,799,235	5,948,854	5,948,854
セグメント利益	189,925	481,617	671,543	671,543

(注) セグメント資産及びセグメント負債の金額は当社の最高経営意思決定機関において定期的に提供・使用していないため記載しておりません。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,177,798	5,948,854
セグメント間取引消去	—	—
連結財務諸表の売上高	6,177,798	5,948,854

(単位: 千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	953,199	671,543
全社費用 (注)	△878,151	△864,133
連結財務諸表の営業利益	75,047	△192,590

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	全社・消去	合計
減損損失	3,535	—	—	3,535

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	全社・消去	合計
減損損失	225,019	—	—	225,019

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	全社・消去	合計
当期償却額	28,834	—	—	28,834
当期末残高	225,868	—	—	225,868

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	全社・消去	合計
当期償却額	14,417	—	—	14,417
当期末残高	—	—	—	—

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	339.11円	152.70円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	7.06円	△179.59円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	7.00円	－円

- (注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	20,713	△519,324
普通株主に帰属しない金額 (千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	20,713	△519,324
期中平均株式数 (株)	2,935,005	2,891,793
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	－	－
普通株式増加数 (株)	25,939	－
(うち新株予約権 (株))	(25,939)	－
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	第2回新株予約権 (新株予約権の数226個)	－

(重要な後発事象)

該当事項はありません。